

保証書付

(裏表紙)

## W 節水 洋風タンク密結便器

### 取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき

誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

#### もくじ

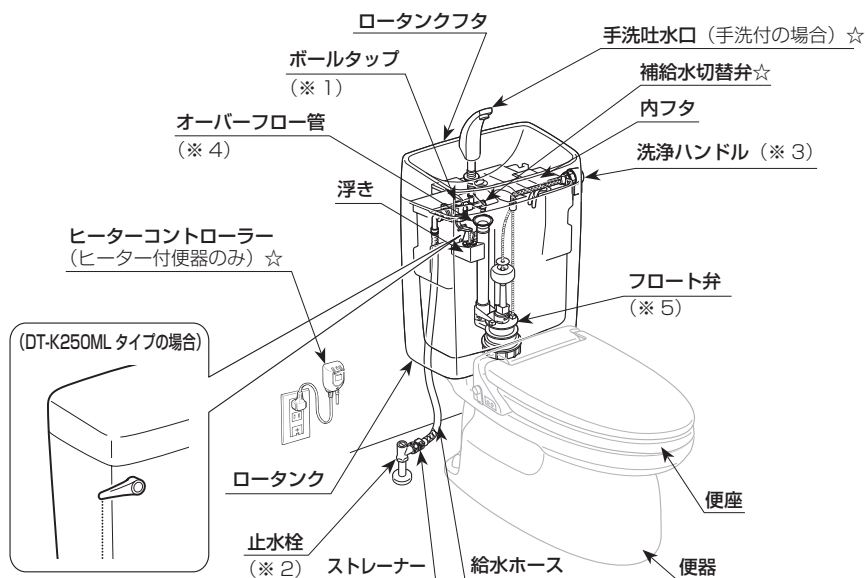
各部のなまえと働き	1
安全上のご注意	2
ご使用方法	6
ご使用上の注意	7
お手入れ方法	11
長期間使用しない場合	14
冬期凍結の恐れがある場合	15
修理を依頼される前に	17
アフターサービスについて	25
別売品のご案内	27



# 各部のなまえと働き

## ■全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



(※1) ボールタップ  
浮きの働きにより、一回分の洗浄水をロータンク内に供給する弁です。

(※2) 止水栓  
水道の水はここを通って、ロータンク内へ給水されます。止水栓はこの水を止めたり、水量調節を行うための弁です。

(※3) 洗浄ハンドル  
フロート弁を持ち上げてロータンク内の洗浄水を便器に流出させるためのハンドルです。

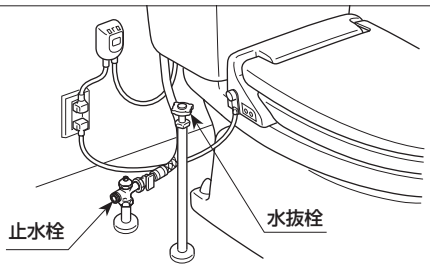
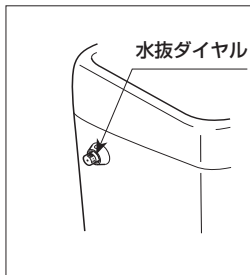
(※4) オーバーフロー管  
万一、不具合が生じて給水が止まらなくなったとき、ロータンクから水があふれないように、便器の方へ流す役目をします。

(※5) フロート弁  
洗浄ハンドル操作により、ロータンク内の水を便器に排出させる弁です。

## 流動式の場合



## 水抜式の場合



※水抜栓は当社製品ではありません。

# 安全上のご注意 (お使いになる前に必ずお読みください。)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

### 警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

### 注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

この表示は、必ず実行していただく「強制」の記号です。



## 警告

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。

※感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



水場使用禁止





## 警告

修理技術者以外の方は、ヒーターコントローラーなどの電気部品を分解したり修理・改造は行わないでください。



分解禁止

※ 感電・火災・ケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ガタついているコンセントは使用しないでください。



禁止

※ 感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。



ぬれ手禁止

※感電の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

● ヒーターやヒーターコントローラーが破損した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。



指示実行

※ 感電・火災の原因になります。

● ロータンクおよび給水部から漏水した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉めてください。

※ 感電・火災・室内浸水の原因となります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源プラグやヒーターコントローラーに水や洗剤をかけないでください。



水かけ禁止

※ 感電・火災の恐れがあります。

〈100V 電源使用の場合〉

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。



禁止

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉

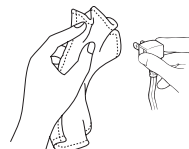
電源プラグにホコリがたまらないよう、コンセントから抜いて定期的に乾いた布でふき取ってください。



指示実行

※ホコリが火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行ってください。



指示実行

※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。

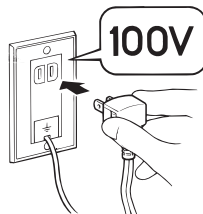


## 警告

- 交流 100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線など定格をこえる使い方をしないでください。

※ 火災の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



禁止



## 注意

電源プラグやヒーターコントローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガの原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



禁止

便フタやカバーの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。



禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※ 火災の原因になります。



火気禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

※ 漏水し室内浸水の原因になります。



禁止

## 注意

ロータンクや便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。

※ 破損部でケガをすることがあります。  
早めに交換してください。



接触禁止

ロータンクに芳香洗剤や薬品、石けん等を置いたり、タンク内部に入れたりしないでください。また清掃時に、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しないでください。

※ 漏水や止水不良、作動不良の原因になります。



禁止

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜いてください。

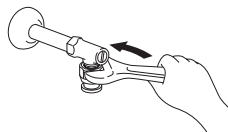
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、ケガをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生恐れがあります。



指示実行

給水ホースの接続は確実に行ってください。

※ 袋ナットの締め付けが不十分だと漏水の原因になります。



指示実行

手洗付の場合、ロータンクフタ、手洗接続管を外した際は、元の接続状態に戻してください。

※ 正しく接続されていないと漏水の原因となります。



指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行ってください。

※ 凍結破損により室内浸水の原因になります。



指示実行

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。

※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

# ご使用方法

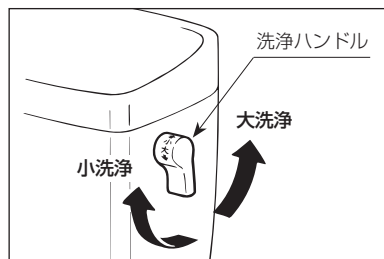
便座については、便座の取扱説明書を必ずご覧ください。

## ■便器鉢内の洗浄のしかた

用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合、洗浄ハンドルを矢印の方向に回してください。

**小洗浄：** 小用の場合にお使いになると洗浄水が少なくてすみます。

**大洗浄：** 大用の場合にお使いください。



### 注意

- 女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので大洗浄の方でご使用ください。
- 一回目の便器内洗浄から間をおかずに二回目を行うと洗浄ができない場合があります。このようなときはしばらく間を置いてから洗浄ハンドルを操作してください。
- 洗浄水量（1回の便器洗浄で使用する水量）は、流動圧 0.2MPa の場合のものです（一部商品を除く）。
- 洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。

## ■断水したときの便器鉢内の洗浄のしかた

バケツ 1 杯（5～6L）の水を、水とびに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3～4L の水を注いでください。

※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。

※ 小洗浄も同じように流してください。

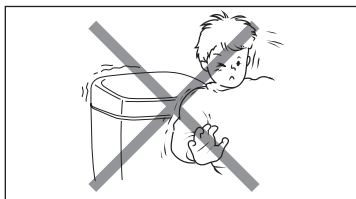
# ご使用上の注意

## ■故障を起こさないために守ってください

### 注意

- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。

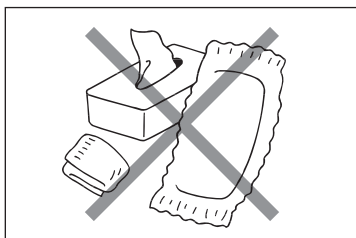
※ 衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。



- 便器には、新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等は流さないでください。

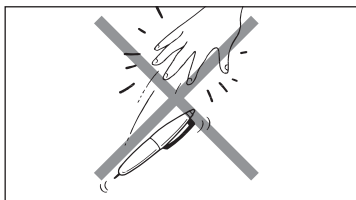
※ 便器が詰まり污水があふれる原因になります。

必ずトイレットペーパーをご使用ください。



- クシ、ボールペン、歯ブラシ等を誤って便器鉢内に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。

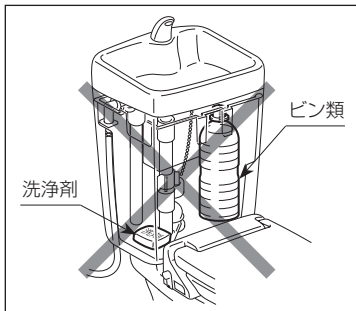
※ 便器が詰まり、污水があふれる原因になります。



- ロータンク内にビンやレンガ、洗剤などの異物を入れないでください。

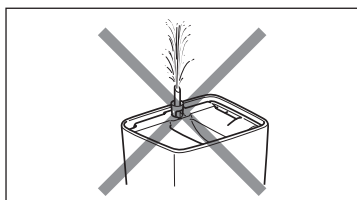
※ 内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。

※ 水量不足により、洗浄不良・便器詰まりを起こし污水があふれる原因になります。





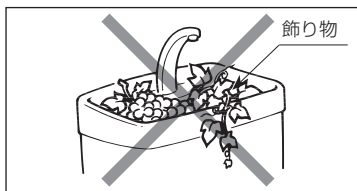
- 手洗付の場合、ロータンクフタを外したままご使用にならないでください。  
※手洗用の水が周囲に飛び散り、床や壁を汚します。



- 直射日光が当たらないようにしてください。  
※直射日光により樹脂部（便座・便フタ）が変色することがあります。

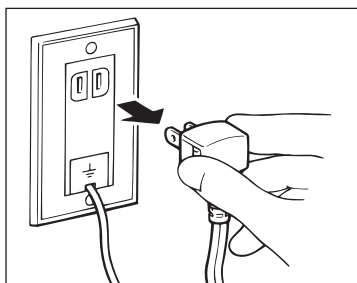


- 手洗付の場合、手洗鉢に飾り物を置かないでください。  
※タンク内に落ちると内部金具に干渉して故障を起こす場合があります。



- 雷が発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
※コンセントから電源プラグを抜かないと雷の影響により故障の原因になります。

〈100V 電源使用の場合〉



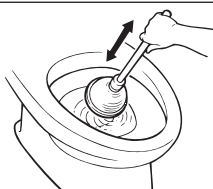
- 樹脂部にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。  
※変色や故障の原因になります。



- 便器に汚物が付着して、便器洗浄しても容易に落ちないときは、樹脂製のブラシで掃除してください。



- 万一詰まった場合には、市販のトイレ用吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。  
※ 中型（φ 130mm 程度）が最適です。  
※ 詰まったまま水を流すと、便器から污水があふれます。



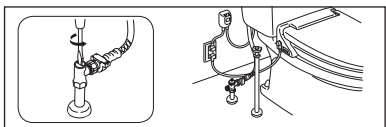
- 汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきれずに残ることがあります。  
大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。便器が詰まり污水があふれる原因になります。  
なおトイレットペーパーの量については JIS の規格を参考にしております。

- トイレットペーパーの使用量が多いときは排水路でサイホン現象が起き、便器に溜まる水の量が少なくなる場合があります。このようなときは再度洗浄して便器に水を溜めてください。  
※ 便器の溜水が少ないと、鉢汚れや排水不良、臭気の原因になる場合があります。

- バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。  
完全に流せない場合は便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

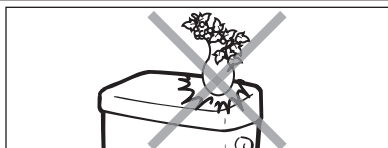
- フタおよび便座の開閉は静かに行い、衝撃を加えないでください。  
※ 衝撃で破損する原因になります。

- 水抜式で止水栓付便器の場合、止水栓は必ず全開でご使用ください。  
※ 凍結の恐れがあります。



●手洗付の場合、手洗鉢にトイレットペーパーやゴミを流さないでください。また、手洗鉢でぞうきんやモップを洗わないでください。  
※漏水や止水不良の原因になります。

●手洗無（樹脂タンク）の場合、重量物や先のとがった物を置いたり、落としたりしないでください。  
※傷つきや破損の原因になります。



## ■結露の注意

室温と便器タンクの表面温度差や湿度により、便器・タンクの表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふきとってください。

※結露水は床のしみや破損の原因になります。

※防露タンク、防露便器の場合は結露しにくい構造になっています。

## ■KILAMIC 抗菌商品についての注意

- 1.KILAMIC 抗菌商品は表面に菌が付着したときに抗菌効果を発揮し、菌の働きによる汚れの生成を抑制します。ホコリ・油膜等が表面を覆った場合、この上に付着する菌に対しては十分な抗菌効果を発揮できません。
- 2.KILAMIC 抗菌商品は菌の繁殖を抑制する効果を持ちますが、菌がまったくなくなるわけではありません。したがって、本商品により感染等が完全に防げるわけではありません。

〔便器、手洗いタンクフタで使用している抗菌剤について〕

部位	添加物質名
陶器	銀
洗浄ハンドル (メッキハンドル除く)	酸化亜鉛

# お手入れ方法

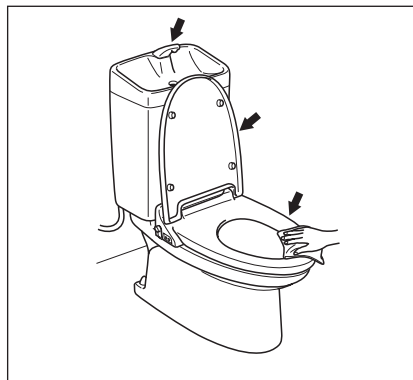
便器や付属金具、便座はお手入れせずに放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく、部品によっては、使用に不具合を生じることにもなりかねません。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

なお、クレンザー、磨き粉は表面を傷つけますのでお使いにならないでください。



## ■便座・便フタ・手洗吐水口（プラスチック類）のお手入れ

- 便座、便フタ、手洗吐水口等は樹脂製です。柔らかい布で水ぶきをしてください。
- お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）（[➡ 27ページ](#)）をおすすめします。



## ⚠ 注意

プラスチック部のお手入れには、以下のものは使用しないでください。

※表面をキズつけたり、プラスチック部が割れてケガをする原因になります。

- 乾いた布やトイレットペーパー
- クレンザー、磨き粉
- 中性洗剤以外の洗剤
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 酸、アルカリ、熱湯
- 金属たわし、ナイロンたわし、ブラシなど



- ヒーター付便器の場合、特に次のことに注意してください。

## 注意

お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 警告

電源プラグやヒーターコントロールローラーに水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。 **水かけ禁止**

〈100V 電源使用の場合〉



## 注意

電源プラグやヒーターコントロールローラーに、便座に使用できる洗剤以外（トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール）は使用しないでください。

※プラスチック部が割れてケガの原因になります。  
〈100V 電源使用の場合〉

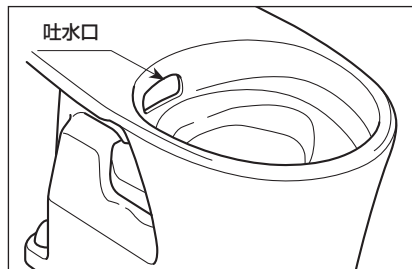
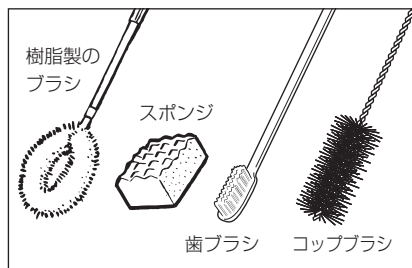


## ■便器のお手入れ（陶器部）

- 樹脂製のブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。
- 当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。（☞ 27 ページ）
- リム奥の狭い部分の汚れについては、歯ブラシやコップブラシ等を使って掃除してください。
- フチレス便器の場合、便器の吐水口は歯ブラシなどの小さめのブラシでお掃除することをおすすめします。
- アクアセラミック加工がしてある場合でも、定期的な清掃は必要です。

## 注意

- 熱湯はお使いにならないでください。  
※便器が破損することがあります。
- ガラス質を侵すフッ素化合物入りの洗剤はお使いにならないでください。  
※表面が侵されます。



## ■止水栓のお手入れ（メッキ部）

- 汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 月に一度くらいミシン油やカーワックスを染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

### 注意

壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄して、メッキ部に酸等が付着した場合は、十分水洗いしてください。

※酸性洗剤はメッキを侵します。

- 表面をキズつける恐れがある以下のものは使用しないでください。
  - クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
  - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
  - ナイロンたわし、ブラシ等
  - シンナー、ベンジン等の溶剤



# 長期間使用しない場合

旅行などで長い間使用しないときは万一の故障のために止水栓を閉めてください。

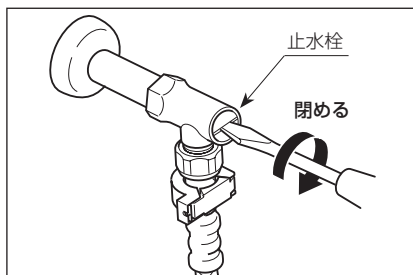
## ■止水栓の閉め方

止水栓をマイナスドライバー等で右に回して、ロータンクへの給水を止めます。

※ 水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作してロータンクへの給水を止めます。

### 注意

止水栓を閉めた後、再び開く場合は必ず全開にして、1/4 回転程度戻してください。



## ■凍結の恐れがある地域の場合

凍結破損防止のため洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を完全に抜きます。また、便器内にたまっている水をすべて抜き、凍結しないようにしてください。水を抜いた後に、不凍液を入れる、もしくはバスタオルなどを詰めて、排水口をふさいでください。

※ 不凍液はそのまま流さないでください。

(不凍液は、便器ご使用開始前に回収し、廃棄処理してください。浄化槽への悪影響や、環境汚染などの恐れがあります。)

※ バスタオルなどでふさぐ場合は、大きな布でしっかりふさいでください。

(下水配管から、異臭や害虫などが侵入する恐れがあります。)

※ バスタオルなどを流さないでください。

(排水管つまりの原因となります。)

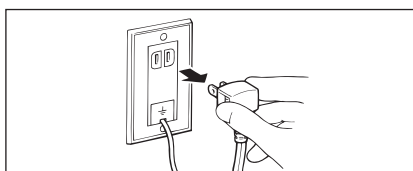
※ 水抜式便器の場合は 15 ページを参照してください。

※ 水抜式便器以外の場合は、洗浄ハンドルをしばらく回したままにしてロータンク内の水を完全に抜いてください。

## ■シャワートイレ、暖房便座、ヒーター付便器をお使いの場合

コンセントから電源プラグを抜いてください。

※ 万一の故障にも安心です。



# 冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処置を行ってください。

※凍結した場合、ロータンクや便器が破損する原因になります。

## ■ 凍結防止方法

### ●標準式便器の場合

室内を暖房して、ロータンク内や便器内の溜水を凍結させないようにしてください。

### ●流動式便器の場合

1. 流動ダイヤルを時計回りに回します。

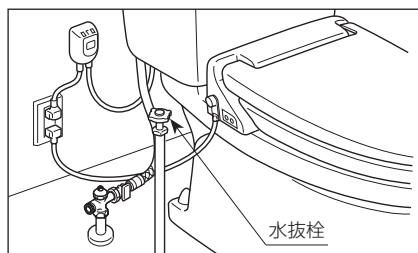
※操作から約 1 分後にロータンク内の水が絶えず便器内に流れるようになります。流動状態を解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに空回しするまで回して戻します。



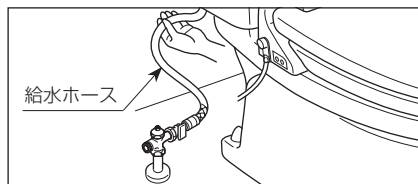
### ●水抜き式便器の場合

1. 室内を暖房し、水抜き栓を操作してロータンクへの給水を止めます。このとき止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておきます。

(ヒーター水抜き併用方式便器の場合は室内暖房の必要はありません。)



2. 給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



### 【給水ホースがたるまない場合】

止水栓に付いた水抜き栓を操作してホース内の水を抜く方法もあります。その場合は水抜き操作後、止水栓の水抜きはしっかり閉めてください。

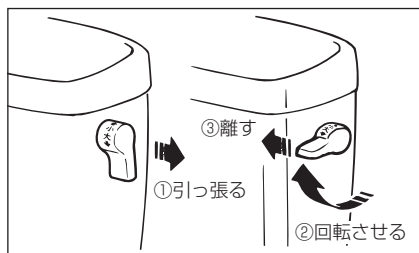
※漏水により、家財などを濡らす恐れがあります。





3. 洗浄ハンドルを操作してロータンク内、配管内の水を抜いてください。

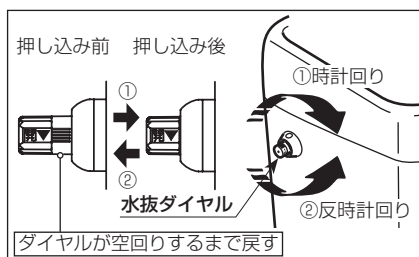
- ①洗浄ハンドルを横に引っ張ります。
- ②手前に回します。
- ③洗浄ハンドルが水平になったら手を離します。
- ④洗浄ハンドルが水平にロックされていることを確認します。



4. 水抜ダイヤルを時計回りに回して押し込み、反時計回りに空回りするまで回して戻します。

※この操作により、ロータンク内の水がより抜けやすくなります。

5. 再使用時は、水抜栓を操作してロータンクへの給水を行ってください。

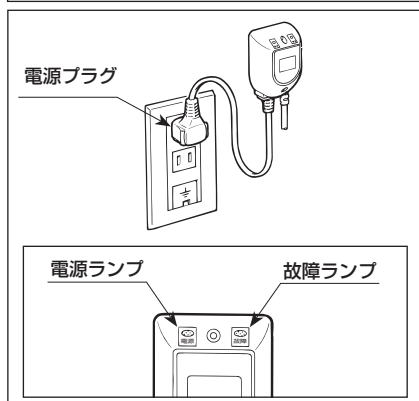


### ●ヒーター付便器の場合

ヒーター付便器の場合は、さらにヒーターの電源プラグをコンセントに差し込みます。このとき電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

### 注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。



## ■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、下記条件からはずれると凍結する恐れがありますのでご注意ください。

- 流動式便器の場合——— 10℃以上
- ヒーター水抜併用式便器の場合——— 15℃以上
- 上記以外の便器——— 0℃以上

※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

# 修理を依頼される前に

## ■故障かなと思ったら

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。  
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

現象	原因	処置
便器が詰まった	便器に紙や汚物が詰まった。	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。(☎ 9、20 ページ参照)
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。(☎ 9 ページ参照)
細かい汚物が残る	汚物の種類（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によってはまれにですが、一度の洗浄では流しきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。	
ロータンクへの給水時間が長い (目安：5 分程度)	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 (☎ 20 ページ参照)
水の流れが悪い または、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 (☎ 20 ページ参照)
	トイレトペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用した場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。(☎ 6 ページ参照)
		1 度に流すトイレトペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。 (☎ 9 ページ参照)
便器内に水が流れ続ける (水が止まらない)	〈流動式便器の場合〉 流動ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤルを回して流動を解除します。 (☎ 15 ページ参照)
	補給水ではありませんか。	洗浄してから 5 分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確認するための補給水です。
ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した。	こまめにふきとってください。また、換気を十分にしてください。(☎ 10 ページ参照)
床が濡れている (便器表面や止水栓は濡れていない)	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をご覧ください。それでも床が濡れている場合は、修理を依頼してください。
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。

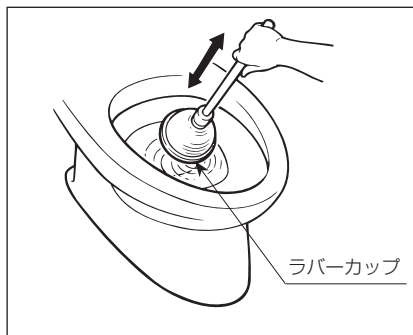
現象	原因	処置
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。	
便器の洗浄音がうるさい	故障ではありません。便器の機種によって洗浄方式が異なり、一般的にサイホン現象が発生する便器は、他の洗浄方式の便器よりも大きな洗浄音がします。	
溜水が少ない	故障ではありません。 便器の機種によって便器深さが異なり、溜水が少なく見えることがあります。	
ロータンクへ給水中に、ロータンクから「コツコツ」と音がする。	故障ではありません。 水抜操作や連続洗浄をしたり、洗浄ハンドルを長時間回した状態で保持すると、ロータンク内の水位が通常より低下します。その際、ロータンク内の浮玉がロータンク内部に接触し、音が発生する場合があります。 ご使用方法に沿ってご使用ください。(P.6 ページ参照)	
便器洗浄後にタンク内から「ゴトツ」という音がする。	故障ではありません。 タンク内のフロート弁が閉じる際に発生する音です。	
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。	
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢よく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。	
小便がはね返る	洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側にねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。	
用便時に水がはね返る(おつり)	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただければ軽減できます。
便器(陶器)にジェル状の洗浄剤をつけたら、洗浄時に水がはねたり流れが悪くなった。	水の流れが正常な状態から変わってしまったためです。	ジェル状の洗浄剤を取り除いてください。
便器(陶器)にピンク色の汚れがある	空気中のバクテリアが、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。バクテリアは水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。	中性洗剤を使用して掃除してください。 繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。

現象	原因	処置
便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふきとってください。
便器の中に、赤いサビの付着物がある		
便器洗浄時に、便器鉢内に黒い異物が流れてくる	使用環境等の要因でタンク内に繁殖したカビがはがれ落ちて流れたものです。	トイレ内が多湿にならないよう換気してください。 タンク内の清掃は、LIXIL 修理受付センターへご依頼ください。（☎ 26 ページ参照）
便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。	市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。 それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置した後、布で拭き取ってください。 その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※ 洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。 また、継続的な使用は控えてください。
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。	
手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。 （☎ 20 ページ参照）
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約 1L～2L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご使用ください。	
【フチレス便器の場合】 便器の吐水口の奥に水が溜まる	故障ではありません。 構造上、目視できる場所に水が溜まることがあります。	

## ■便器が詰まった場合

市販のラバーカップを使用し、次の要領で詰まりを取り除いてください。

便器の排水口をふさぐように、ラバーカップを静かに押し付け、勢いよく手前に引いたり押したりを数度繰り返してください。このとき、透明なビニールでカバーしておくと汚水の飛び散りを防ぐことができます。ラバーカップは中型（φ 130mm 程度）が最適です。



## ■ロータンクへの給水時間が長くなった場合

ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われますので、以下の手順でストレーナーのゴミを取り除いてください。

1. 止水栓をマイナスドライバー等で右に回して閉めます。

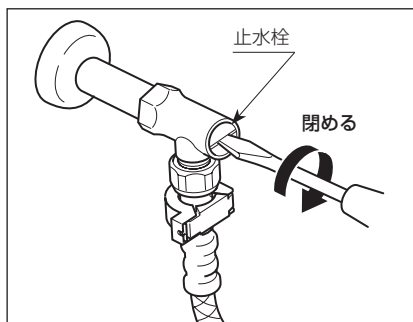
### 注意

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、傷を付ける恐れがあります。

以下の点に注意してください。

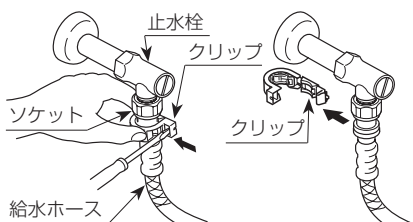
※ マイナス溝にあうマイナスドライバーを使用してください。

※ 必要以上に閉めすぎないでください。

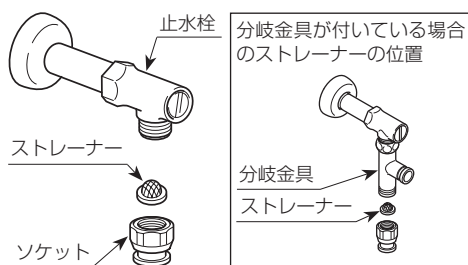


## クリップ式の場合

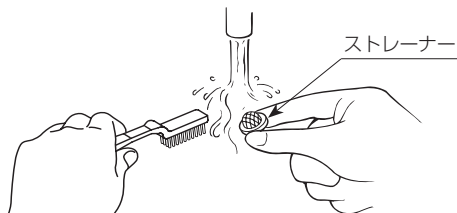
2. 給水ホースとソケットを固定しているクリップを図のようにマイナスドライバーを差し込んで外し、給水ホースをソケットから外します。  
このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。



3. ソケットを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。



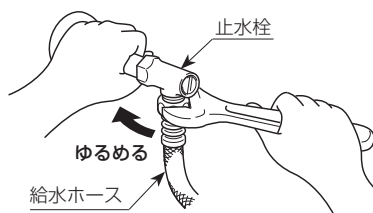
4. ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。



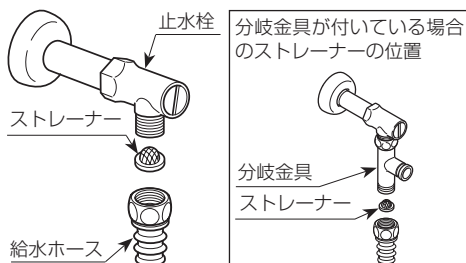
5. ストレーナーを、手順 3. の図に示すとおり、位置と向きに注意して取り付けます。

## 袋ナットの場合

2. 給水ホースと止水栓を固定している袋ナットを図のようにゆるめます。  
このとき給水ホース内の水が出てきますので、雑巾などを用意しておいてください。

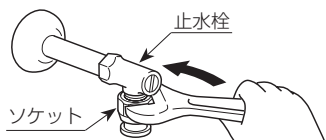


3. 給水ホースを止水栓から外し、ストレーナーを取り出します。



## クリップ式の場合

6. 止水栓にソケットを取り付けます。  
このとき、ソケットをしっかりと締め付けてください。

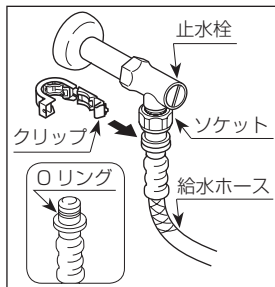


7. 給水ホースをソケットに差し込み、クリップを差し込みます。

### 注意

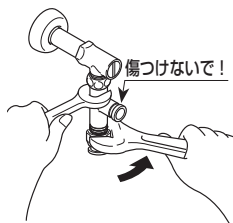
Oリングを傷つけないように注意してください。

※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

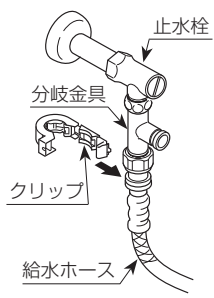


## ● 分岐金具が付いている場合の給水ホースの取付方法

分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、ソケットをスパナーなどでしっかりと締め付けてください。

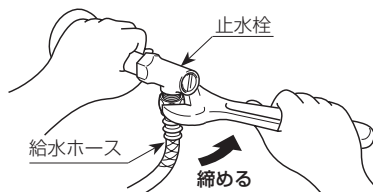


分岐金具が付いている場合のクリップリングの取付位置



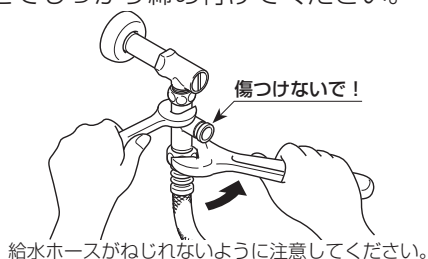
## 袋ナットの場合

6. 止水栓に給水ホースを取り付けます。このとき、袋ナットをしっかりと締め付けてください。



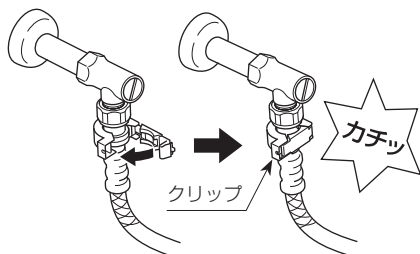
## ● 分岐金具が付いている場合の給水ホースの取付方法

分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナーなどでしっかりと締め付けてください。



## クリップ式の場合

8. クリップを折り曲げ、給水ホースとソケットを確実に固定します。

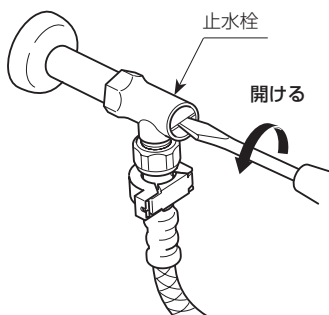


### 注意

クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。

※ きちんとはまっていないと漏水します。

9. 止水栓をマイナスドライバーなどで左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。



10. 給水時間が短くなったことを確認します。

### ⚠ 注意

給水ホースの接続は確実にを行い、接続部が漏水していないことを確認してください。

※ 接続部の固定が不十分ですと漏水の原因になります。



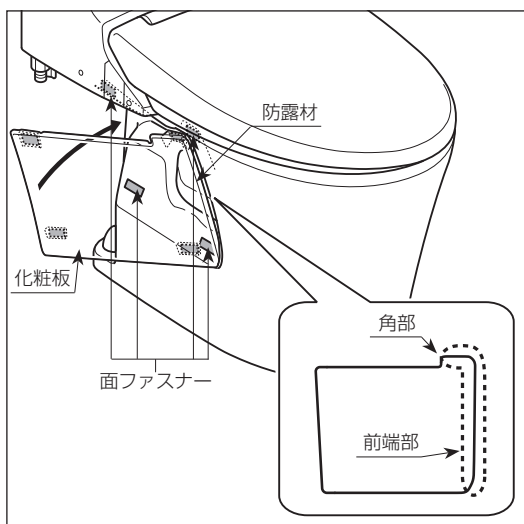
指示実行



## ■便器の化粧板が外れてしまった場合 (フチレス便器の場合)

以下の手順で化粧板を組み付けてください。

1. 化粧板の角部と前端部を、陶器に合わせ、前側2箇所の面ファスナーに取り付けます。
2. そのまま化粧板を後側2箇所の面ファスナーに取り付けます。  
最後にもう一度化粧板をおさえ、外れないことを確認します。  
※ 反対側も同様に取り付けてください。



### 注意

防露材は便器の結露防止のための部材なので取り外さないでください。

# アフターサービスについて

## 1. 修理を依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項（☞ 17 ページ）を参照して確認してください。

## 2. 保証書と保証期間

保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

**保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。**

## 3. 修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。  
（連絡先は次ページに記載）

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

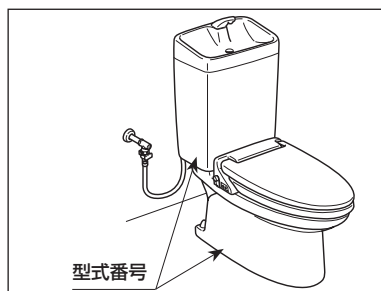
- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

- (1) ご住所、ご氏名、電話番号
- (2) 商品名
- (3) 型式番号 [商品に表示 (右図参照)]
- (4) ご購入日
- (5) 故障内容・異常の状況
- (6) 訪問ご希望日



#### 4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

#### 5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

「お客さま相談センター」または LIXIL 修理受付センターへお問い合わせください。

##### 使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

**TEL ☎ 0120-179-400**

**FAX ☎ 0120-179-430**

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用にならない場合がございます。  
下記番号をご利用ください。

**TEL : 0562-40-4050**

**FAX : 0562-40-4053**

##### 修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

**TEL ☎ 0120-179-411**

**FAX ☎ 0120-179-456**

受付時間 9:00～20:00（365日受付）

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>

# 別売品のご案内

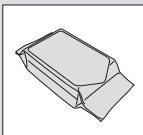
当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、別売品を用意しております。  
※ 別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。(連絡先は 26 ページに記載)

## 別売品について

### 〈メンテナンス用品〉

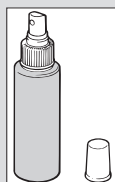
#### ■トイレ用おそうじティッシュ (品番：CWA-36-4SET)

樹脂を傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。  
使用後、便器にそのまま流せます。(☞ 11 ページ)



#### ■シャワートイレお掃除クリーナー (品番：CWA-20)

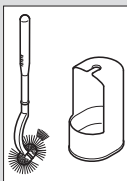
樹脂を傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。  
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。(☞ 11 ページ)



#### ■お掃除ブラシ (品番：CWA-48、CWA-48-A)

便器の表面をキズつけないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。  
(☞ 12 ページ)

※ CWA-48-A はケースが付きません。



## 別売品の購入方法

#### ●直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

#### ●宅配サービスを利用される場合

LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。

宅配サービスにてお届けいたします。(宅配サービスでは送料が別途必要となります。)  
[ご注文フリーダイヤル]

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。  
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

# Memo

# Memo

# Memo

# 保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。  
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名：W 節水洋風タンク密結便器（品番：\_\_\_\_\_）

保証期間：取付日より **2** ヶ年

取付日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

お客さま	おなまえ	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">無効</div>	様
おところ	おでんわ		( _____ ) - _____

## 無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
  - 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
  - ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内にある「アフターサービス」に掲載の、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
  - 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
    - 車両・船舶などで使用した場合の故障及び損傷
    - 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
    - 不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
    - 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
    - 不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
    - 建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
    - 消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
    - 公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
    - 小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
    - 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
    - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
    - 温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
    - 異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
    - 指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
    - 保証書の期限切れ、または提示がない場合
    - 本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後最低 10 ヶ年です。

取扱店

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/>